

# Indonesia Weekly

2019年3月25日



(対象期間：2019/3/18～2019/3/22)

## 【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年3月22日)



## 【株式市場】

前半は米連邦公開市場委員会（FOMC）の開催を控え様子見姿勢が強まる中、インドネシア株式市場は狭い値幅での推移となりました。その後FOMCの声明が市場予想以上にハト派的な内容だったことから、市場では安心感が広がり、インドネシア株式市場は週末にかけて上昇しました。セクター別では、決算内容が好感された金融、建設・不動産などが上昇した一方で、農業、消費財などは下落しました。

2019/3/15	2019/3/22	変化率
6,461.18	6,525.27	+0.99%

## 【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年3月22日)



## 【債券市場】

前半はFOMCの開催を控え様子見姿勢が強まり、インドネシア債券市場は狭い値幅での推移となりました。その後FOMCのハト派的な声明を受けて米国債の利回りが低下し、インドネシア10年国債利回りも低下（価格は上昇）しました。21日にインドネシア中央銀行（BI）は政策金利を据え置き、同時に銀行融資の拡大を狙い、流動性比率のガイダンスを引き上げました。BIの金利据え置きが市場の想定内であったことから、週末にかけて10年国債利回りは小動きとなりました。

2019/3/15	2019/3/22	変化幅
7.773	7.611	-0.162

## 【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年3月22日)



## 【為替市場】

FOMCの開催を控え、様子見姿勢が強まる中、ルピアは堅調となりました。しかし、週末にかけて世界景気の見通しに対する懸念が高まり、上値は抑えられました。週間では米国株安などを受けたリスク回避姿勢が強まり円高が進んだことから、ルピアは対円で下落しました。

2019/3/15	2019/3/22	変化率
0.7828	0.7788	-0.51%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。

